

「第10回スポーツ環境会議」議事録

平成30年2月8日(木) 14:00~16:00

新宿区役所6階第2委員会室

1 出席者

1	今泉 清隆 (区体育協会)	11	中山 順子 (生涯学習スポーツ課長)
2	金子 和子 (区スポーツ推進委員協議会)	12	佐藤 陽一 (新宿未来創造財団等担当課長)
3	小菅 知三 (区レクリエーション協会)	13	山本 誠一 (地域包括ケア推進課長)
4	山田 和男 (区町会連合会)	14	関原 陽子 (子ども家庭課長)
5	太田原 武 (区高齢者クラブ連合会)	15	中川 誠一 (健康政策課長)
6	大塚 フジエ (区青少年育成委員会)	16	依田 治朗 (みどり公園課長)
7	山本 芳裕 (区小学校PTA連合会)	17	齊藤 正之 (教育調整課長)
8	小宮 高之 (スポーツ関連事業者)	18	浅野 祐介 (東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長)
9	関口 美緒 (公募委員)		
10	藤原 千里 (公募委員)		

欠席者 5名

- 間野 義之 (学識経験者)
- 徳堂 泰作 (区障害者団体連絡協議会)
- 鈴木 和成 (区中学校PTA協議会)
- 小柳 俊彦 (新宿未来創造財団事務局長)
- 関本 ますみ (障害者福祉課長)

机上配付資料

- 資料1 スポーツ環境会議設置要綱
- 資料2 スポーツ環境会議委員名簿
- 資料3 短期留学者(新宿区内の日本語学校)のスポーツ事情
- 資料4 東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会開催要綱

当日配布資料

- ・「健康づくりウォーキングマップ」資料一式
- ・「ささえーる薬王寺 薬王寺地域ささえあい館」資料一式
- ・「スポレクキャラバン隊事業」資料一式
- ・新宿スポーツセンター特別イベントチラシ
- ・スポーツ指導者講習会チラシ

2 事務局

生涯学習スポーツ課

3 会議内容

(1) 開会

(2) 生涯学習スポーツ課長あいさつ

皆様のご協力のもと、1月28日に開催した第16回新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソンは無事に終了できた。

今回は10回目の会議となるが、昨年10月の第9回会議の後に皆様の取り組み内容や「各団体の連携」をテーマに、ご意見を伺いたいと思う。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まであと897日となり、明日からは韓国の平昌でオリンピック・パラリンピック冬季競技大会も開催される。区としては、これを絶好の機会ととらえ、新宿区全体の東京2020大会に向けた気運醸成を図り、スポーツを通じた地域コミュニティのさらなる活性化を推進していきたいと考えている。皆様にはより一層のご協力をお願いしたい。

(3) 情報交換・意見交換（要旨）

ア 各団体・委員からの報告

・区体育協会

実施内容としては前回会議の時と同じだが、他区ではジュニア活動資金での不正があった。体協としては、不正のないよう加盟団体ともに気をつけている。

・レクリエーション協会

「新宿区レクリエーションフォーラム2018」を企画し、健常者と障害者がレクリエーションをどのように共有・展開できるかを、障害者の視点ですすめている。また、区同士が連携する合同ウォーキング（2区ふれあいウォーキング）の実施をすすめている。

・新宿区町会連合会

新宿シティハーフマラソンの際には、四谷、若松地区が協力し、ボランティアも多く参加した。また、昨年全国自治会連合会で東大阪に行った。ここはラグビーで有名な場所なのにオリンピック・パラリンピックムードはなく、地方では東京ほどの盛り上がりはなく、寂しい感じがあった。

・高齢者クラブ連合会

高齢者クラブ内ではグラウンドゴルフ大会、輪投げをやっている。今後はボッチャを教わって実施したいと考えてる。

・青少年育成委員会

育成委員会の10地区では、地域の多くの人とつながりができるように、豆まき、餅つき大会、スケート、ボーリング大会など、様々な催しを行っている。例えば、小学生のサッカー、野球大会を開催するときは、中学生が審判やコーチとなり協力し、スノーシューでは、皆がスポーツを通して、つながりが持てるように意識して開催している。

- ・小学校PTA連合会

新宿シティハーフマラソンでは沿道からの応援プロジェクトを実現できた。今回は3校が参加し、外苑の噴水広場の前で楽器演奏を行い、応援した。今後は規模を大きくし、東京マラソン、オリンピック・パラリンピックの際にも応援できるようにしたい。新宿スポーツセンターで開催した卓球大会では、応援に来てくれた人たちが参加している保護者にメッセージを鶴にして渡す取り組みを行い、今後も継続したい。

- ・スポーツ関連事業者代表

新宿スポーツセンターの指定管理者として2年目となり、新しいスポーツの体験のイベント「新宿スポセン祭り」を開催し、プール、トレーニング室の無料開放、スラッグライン、アクアロール等の体験をしてもらった。今年はオリ・パラムーブメントとして、体操教室、スポーツ指導者講習会など、スポーツに関するイベントを発信したい。

- ・関口委員

新宿スポーツセンターのような入会金がない1回ずつ使用料のみで利用できる日本でのスポーツ環境について、留学生はほとんど知らない。また、サポーターや観客、通訳などでの参加もあり得るため、留学生がスポーツイベントに関わりが持てるよう、今後も情報の共有化もすすめていきたい。

- ・藤原委員

駒沢オリンピック公園総合運動場で行うハンドサッカー大会は、障害の幅が大きくても行えるスポーツであり、多くの参加者が予想される。また、気軽にスポーツに参加できる運動場を探しており、ボッチャの練習場として、高齢者施設の地域交流スペースを考えている。スポレクキャラバン隊については、東京都の子育て応援事業として、年間40回程度開催しており、障害の有無にかかわらず参加できる事業のため、開催終了後にも報告したい。

- ・スポーツ推進委員協議会

昨年1年間は主にボッチャの普及活動を行った。今後は育成委員会の委員への研修を予定しており、今後も研修を受けた委員が、各地域で紹介できるようにしていきたい。2月3日に開催した障害者のボッチャイベントでは天井が高いコズミックセンターの小体育室で実施したため、広いところでゲームを行えたことがうれしい等、非常に好評だった。

イ 各課での取り組みについて

- ・生涯学習スポーツ課

ボッチャはパラリンピックの中でも馴染みやすいスポーツのため、当課でもボッチャを軸に普及啓発に力を入れている。また、幼稚園9園、こども園3園でのボッチャ体験では、スポーツ推進委員が現地に出向き、親子877名の参加があった。実施後のアンケート結果も好評で、このイベントはスポーツ推進委員の能力を知ってもらう良い機会にもなった。

障害者のボッチャイベントでは、ボッチャを通して、スポーツをしたい障害者の方と出会う良い機会となった。当課では、イベントの開催をするだけでなく、それぞれの団体の特性にあわせて連携し、地域にスポーツ活動が根ざしていけるよう地道に取り組むを行いたい。

・新宿未来創造財団

新宿シティハーフマラソンについて、皆様のご協力により大きな事故もなく無事に終了できた。また、小学校PTA連合会のご協力により、小学生70名によるマーチングや和太鼓演奏で走者を応援する新しい取り組みが実施できた。今後は、障害者スポーツについて、ハンディキャップスイムデー、障害者スポーツデーなど、従前の事業も充実させていきたい。

・地域包括ケア推進課

金子会長はじめ、ウォーキング協会、レクリエーション協会の全面的なご協力のもと、金沢八景へのいきいきハイキングを無事に終えることができた。

また、薬王寺ことぶき館を全面改修し、「ささえーる薬王寺 ささえあい館」を開館した。これは、従来の高齢者施設機能に加え、高齢者を支える多世代の方の参加による支援活動と、非常勤の活動支援員の配置による支援を行うなど、今までにない施設を目指しオープンした。講座内容にはウォーキングやポッチャがあり、3B体操も実施する予定である。

・東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課

東京2020大会に向けて、関係団体の皆さまと一体となって気運醸成に取り組むため、東京2020大会区民協議会を設置し、ご議論をいただいている。そのほか、昨年10月の1000日前の記念イベントをはじめ、オリンピック・パラリンピックの競技種目を体験するイベントの開催などさまざまな取り組みを進めている。

新宿シティハーフマラソンにおいて、小学校PTA連合会のご尽力で小学生による応援を実施していただいた。東京2020大会の記憶と感動が継承できるよう、子どもたちの競技観戦の機会の確保については、大会組織委員会へ引き続き要請していきたい。

・子ども家庭課

2月16日に青少年育成委員会合同実技研修会でポッチャ講習会を企画している。この研修を通して、今後各地区で広げていけるといいと思っている。

・健康政策課

健康づくりウォーキングマップが完成し、マップサイズや掲載内容に工夫し、好評を得ている。来年度から5か年の健康づくり行動計画を策定中であるが、施策の柱として、身体活動量の増加や運動・スポーツ活動の習慣化を考えている。委員の皆様や各団体のご協力をいただきながら、運動・スポーツを通して、区民の健康寿命を延ばしていけるよう取り組んでいきたい。

・みどり公園課

新宿中央公園での大型複合遊具は3月中旬に完成予定。また、魅力向上のため、継続して設備環境を整えていきたいと考えている。

・教育調整課

スポーツイベントへの参加は、子どもたちの興味関心につながるため、今後も皆様と協力してすすめていきたい。学校での取り組みとして、基礎体力の向上と健康な体づくりを目標として、スポーツギネス新宿を来年度も実施する予定であり、小学校では10種目から選択して運動を実施し、中学校

ではダブルダッチを実施する予定。

東京 2020 大会を契機として、オリンピック競技を通じて障害者理解を深める取り組みを実施する。

(4) 各団体の連携

- ・金子座長

前回の議事録も参照し、意見交換をしたい。団体との連携を重要と位置付けている生涯学習スポーツ課より発言をお願いしたい。

- ・生涯学習スポーツ課

教育委員会では学校、幼稚園等での児童、子どもの運動状況等の把握ができており、障害者福祉センターでは、障害特性に応じた対応をすぐ検討できる。各部署で特化されたノウハウなどを共有し、互いに連携し協力できれば、スポーツイベントの周知効果も大きい。当課でも各団体、組織の強みがかみ合う事業が必要であると考えているため、各団体の活動についてアンテナを張り、更なる連携に取り組んでいきたい。

- ・金子座長

「ごっくん体操」についての進捗はどうなっているか

- ・健康政策課

嚙下機能維持のため、「パ・タ・カ・ラ」という言葉を交えた「新宿ごっくん体操の歌（仮称）」を作り、DVD1,000 枚製作する予定。現在、榎町地区でモデル事業を行い、「ごっくんリーダー」の育成と、更なる普及啓発に努めている。また、各地域での展開やいきいき体操との連携については、3・4月までに調整・検討する。

- ・金子座長

ごっくん体操は新宿区内全域で展開し、いきいき体操のサポーターにも協力してもらいたい。

- ・高齢者クラブ

高齢者クラブでは、体をつかうものだけでなく、頭をつかった囲碁・将棋も行っている。ボッチャもしてみたいがなかなかできないのが実情である。

(5) その他 意見交換

- ・青少年育成委員会

育成委員会の話ではないが、新宿区サッカー協会ではJリーガーを3名招いてサッカー教室を開催した。今後も同様のイベントを開催予定である。

- ・レクリエーション協会

オリンピック・パラリンピックへの関心の低さについては、自分も実感している。新宿区内でも無関係であるという雰囲気を感じられる。区の取り組みについてはどうなっているのか

- ・東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長

子ども向けの体験イベントは開催しているが、会場がコズミックセンターに集中していると区民協議会で指摘もあるため、各地域での盛り上がりについて検討している。例えば、各特別出張所・地域センター内にカウントダウン用のモニターの設置や、地域センター祭りで関連ブースを出展している。今後も各地域の皆様と2020大会に向けて検討を進めている。

- ・東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課

子ども向けの体験イベントを開催しているが、コズミックスポーツセンターを会場としていることから、区民協議会において、住む地域によっては参加しづらいといったご意見をいただいた。現在、各特別出張所に設置しているモニターで大会までの日数を表示したり、地域センター祭りにPRブースを出展させていただいたりしている。今後も区民協議会などでのご意見を踏まえて効果的なPR方法を検討していく。

- ・教育調整課

教育委員会では主に子どもたちの教育の推進を行い、道案内、新宿区の紹介を交えた英語キャンプを実施している。

- ・金子座長

昨年車椅子サッカー、ブラインドサッカーの体験イベントの手伝いをしたが、競技の面白さがうまく伝わらず、参加者が非常に少なかった。今後は集客のアイデア、情報の発信が必要と思う。

4 行政からの連絡について

来年度スポーツ環境会議の実施日程、内容等は未定のため、決定次第お知らせする。